

第1分科会

業務記録兼事務引継書 ～事務研から発信する業務改善～



提案者	中之町小学校	森重昌美
	沼田小学校	峠越愛加
司会者	第三中学校	加納大地
	須波小学校	向井好美
記録者	久井小学校	道前るみ
	鷺浦小学校	岡本麻住
助言者	—	
分科会責任者	大和小学校	岡田まゆみ

(参加人数 145名)

提案の概要

三原市事務研は『業務記録兼事務引継書』の作成に取り組みました。事務職員の世代交代が進む中で課題となるのが事務引継の効率化であると考え、日々の業務記録が事務引継書となることで『仕事を先どる』サイクルを構築できれば、気になっていた新しい課題に挑戦するゆとりが生まれるのではないのでしょうか。事務研があったから取り組むことができた実践を提案しました。

質問事項1

日々の事務処理の記録を残すということと「業務記録兼事務引継書」のつながりはどうなっているか。

回答1

毎月の業務を記録しておくことで、その時期に必要な事務処理（様式や提出物を含めて）が分かるもの＝「業務記録兼事務引継書」ができあがるということ。

質問事項2

「業務記録兼事務引継書」の「♥自校データへのリンク」先は、様式のデータかそれとも提出したデータか。

回答2

「♥自校データへのリンク」先は、各校の提出したデータを保存している。
様式は、業務内容の青字でアンダーラインのついている項目からリンクをかけ、表示可能としている。

質問事項3

「業務記録兼事務引継書」の記録は、その日に行った業務記録か、それとも提出期限の記録か。

回答3

個々による。例えば実際の業務記録（旅費入力・市費入力等）を記録する場合もあれば、この日までに行いたい業務や締切日を記録する場合もある。

討議の内容

- ① 各市町の事務研での業務改善や事務引き継ぎのとりくみについて。
- ② 「日々の業務の中から」仕事を先どるとは。

まとめ

グループ討議はワールドカフェ形式で進めました。4人または5人×6テーブルのグループを6ブロック構成し、ブロック内でテーブルを2回移動してメンバーを変えて、討議の柱①について話し合いました。リラックスした雰囲気の中で、業務改善のアイデアや事務引き継ぎの工夫など、いろいろな日々のとりくみが出されました。

その後、当初のテーブルに戻り、討議の柱②について話し合いました。移動する毎にこれまで出た内容について交流（感想・今後に向けて）を行いました。

参加人数が多かったのですが、1グループの人数を4～5人としたことで、活発な意見交流ができました。